

女性起業育成・経営発展支援事業【青森県】

総事業費	227 千円
交付金額	113 千円

地域の実情と課題

女性農業者が経営参画する経営体は経常利益率が高い傾向にあるが、多くの女性農業者は資金不足・労働力不足、高齢化等により新規起業や規模拡大に踏み込めない状況にある。

このような状況の中、女性起業活動を発展させるためには実態や課題を把握し、課題解決に向けた講座や優良事例講座の開催、機器整備費等、知識・技術・資金面での支援が必要である。

事業の特徴

起業活動に取り組む個人・団体を対象に普及指導員が巡回し、起業活動の内容や実績、事業展開などの調査を行い、活動実態と課題の把握に努めるとともに、女性起業個々の課題を整理し、普及指導員が助言・指導を行う。

また、課題に対応した講座を開催し、女性起業家や、起業を目指す女性に対してフォローアップを行う。

事業の効果

○活動実態調査(調査対象:令和3年度)において、女性起業数が331件と、前年度より6件増加したことを確認した。

(新規起業19件、廃業13件)

○331経営体の年間売り上げは54.8億円となり、前年度より2.2億円増加した。

目的・目標

農山漁村の女性による加工、直売、農漁家レストラン等の起業活動は、農林水産物の付加価値向上のみならず、道の駅の魅力向上、地域の活性化など、地域振興に大きく貢献しており、「攻めの農林水産業」においても農山漁村女性が活躍できる環境づくりの一つとして、農山漁村女性起業の育成を推進している。

女性起業の促進に向けた講座の開催や、本格的な起業を目指す農山漁村女性に対し支援することにより、女性農林漁業者の経営力強化を図る。

連携団体

青森県内農業協同組合、産地直売施設等

今後の課題

食品衛生法、食品表示の改正や軽減税率の導入等、食を取り巻く法律の改正により、女性起業家の知識の習得が引き続き必要である。また、農山漁村地域の高齢化と共に女性起業家の高齢化が進み、法改正等により高齢の女性起業家が廃業する恐れがある。

これらの高齢女性起業家が持つ技術を継承する若手女性起業家の育成支援や、新規起業や事業拡大を図るための契機となる支援が必要である。

事業の概要

女性起業の促進に向けた講座の開催や、本格的な起業を目指す農山漁村女性に対し支援することにより、女性農林漁業者の経営力向上を図った。

○活動実態調査

女性起業の実態・課題を把握するため、県内の女性起業家を対象に起業活動実態調査を実施した。

調査項目は経営形態や活動日数、売上金額等の実態のほか、今後の事業展開や事業継承の展望、習得したい知識など。

○基礎講座

軽減税率の導入、食品衛生法、食品表示の改正などの基礎知識を習得するための専門家による講座を各地域県民局で全6回開催した。

○優良事例講座

加工機器、ICT導入などの優良事例を実施する県内外の講師を招請した講座を東青地域・上北地域で各1回開催した。